

市長記者会見



いつでも
わくわく
まらまら
IWAKI

本日の案件

- 1 選ばれるまち、いわきへ。移住定住政策をアップグレード！
- 2 ～65歳以上のいわき市民の方へ～いきいきシニアきこえサポート事業

令和8年7月28日

市長記者会見



いつでも
わくわく
まらまら
IWAKI

本日の案件

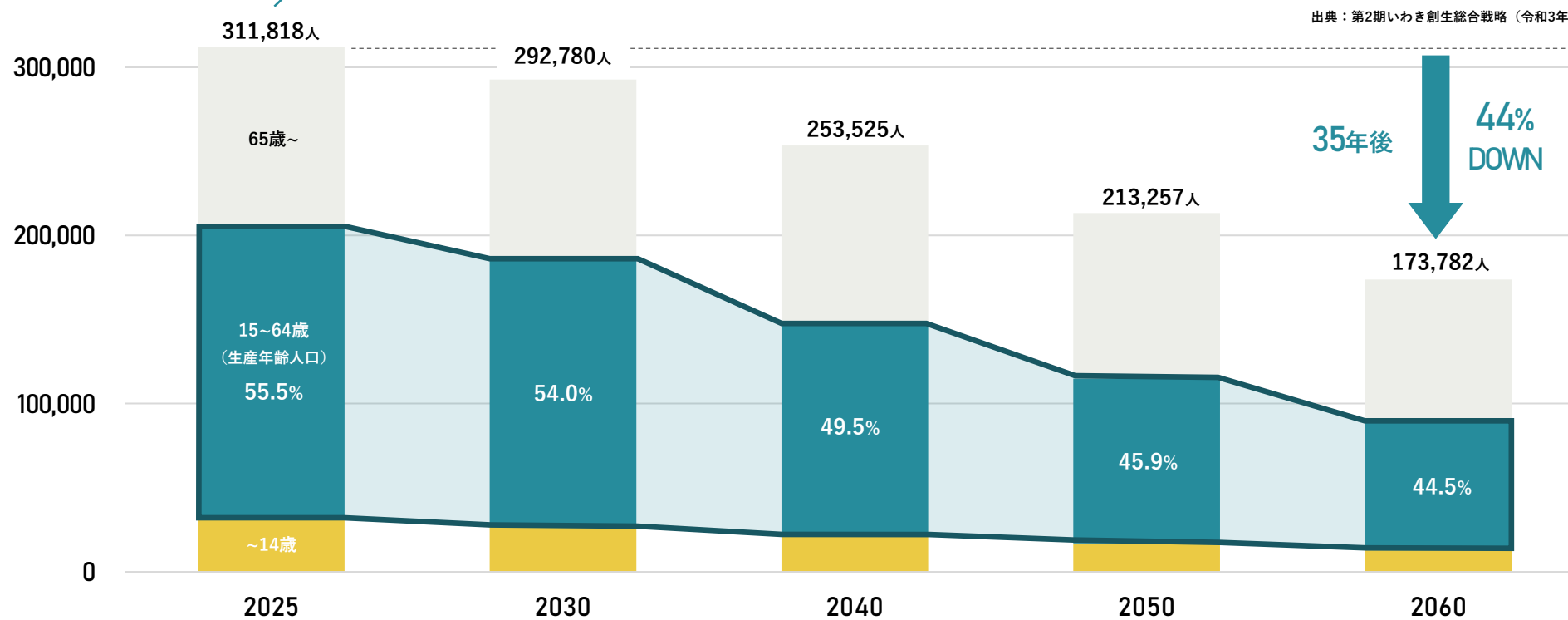
1 選ばれるまち、いわきへ。移住定住政策をアップグレード！

令和8年7月28日

私たちが直面している現実



R7国勢調査速報値：306,495人（▲5,323人）



人口減少

少子高齢化

労働力不足

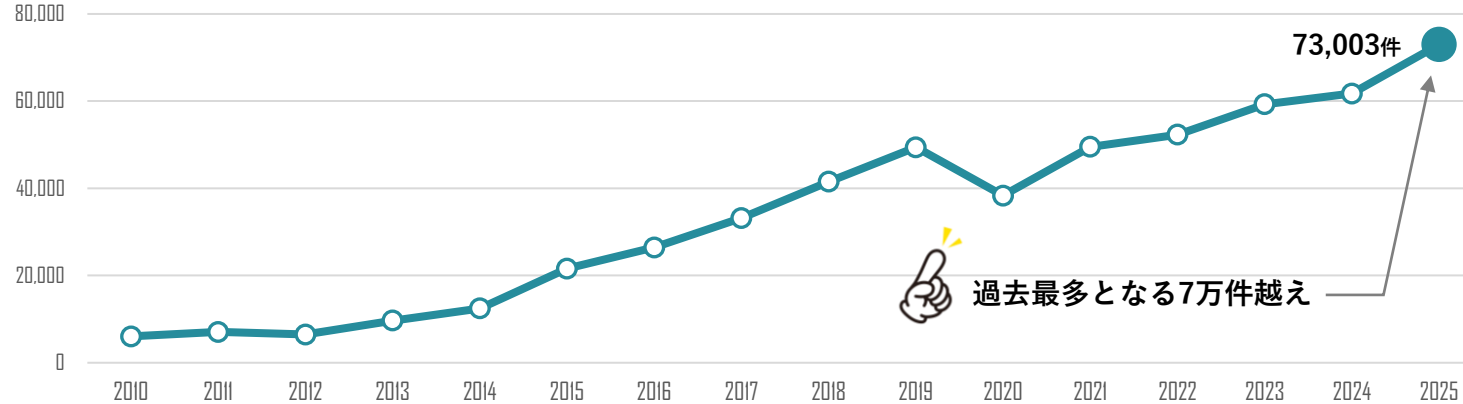
移住ニーズの増加



全国の移住ニーズは年々高まっており、福島県は「移住希望地ランキング」上位にランクイン！

【ふるさと回帰支援センター（東京）における相談件数の推移】

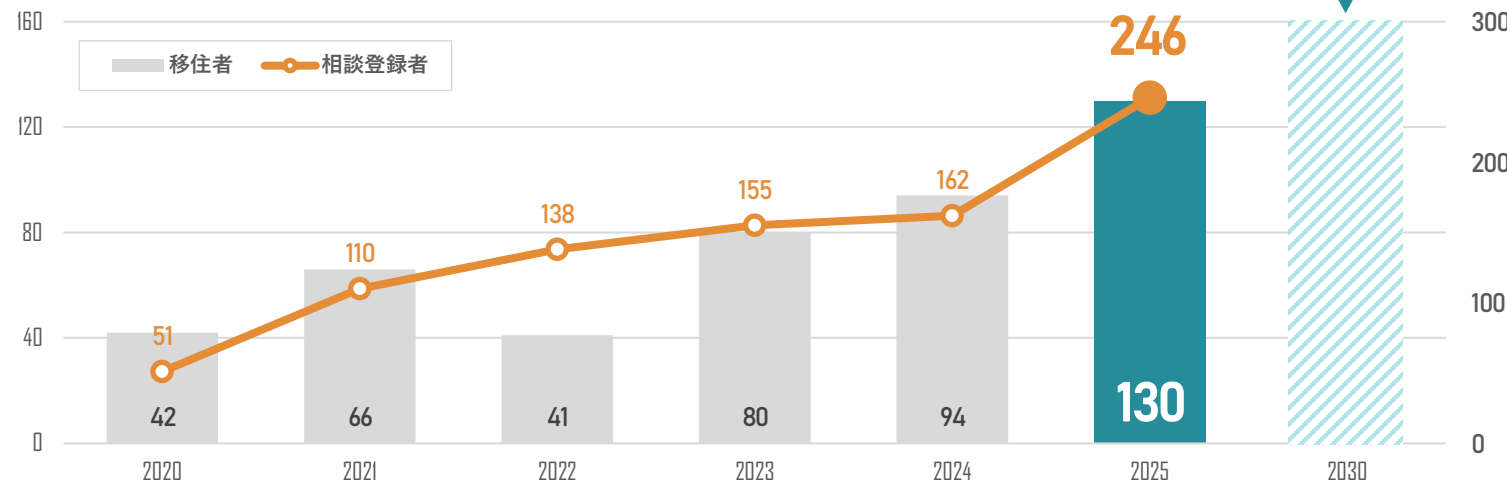
出典：ふるさと回帰・移住交流推進機構



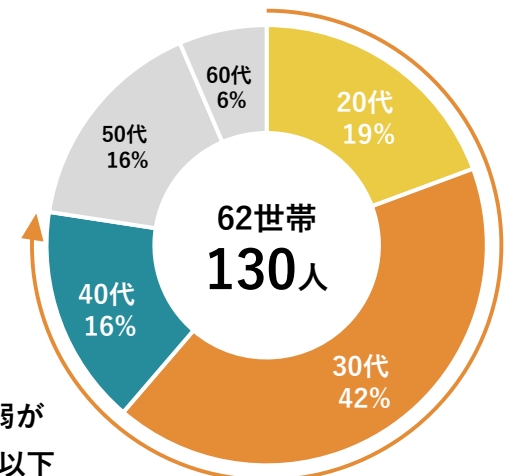
【移住希望地ランキング】

順位	都道府県
1位	群馬県
2位	栃木県
3位	長野県
4位	静岡県
5位	福島県

本市への移住相談登録および移住者数も過去最多！



【移住者の年齢層】



8割弱が40代以下

本年4月「いわきとつながる課」を新設



「いわき移住定住支援センター」の取組強化

6つのアップグレード

① 情報発信の強化

② 相談体制の強化

③ 支援制度の強化

④ お試し移住体験

⑤ 首都圏コミュニティの創出

⑥ 庁内連携の強化

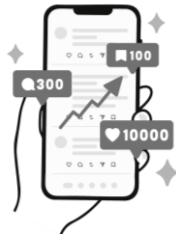
① 情報発信の強化



選ばれるためには、まず「認知度アップ」

Action
01

SNS



移住関心層へリーチ！

- 市内インフルエンサーとの連携（X、インスタ）
- Meta広告の活用
- ショート動画の活用

Action
02

HP



SNSから送客！

- 本年6月、全面リニューアル
- パンフレットを刷新
- 知りたい情報や支援制度を分かりやすく掲載

Action
03

Event



対面でつながる！

- 首都圏での移住イベントや相談会を積極開催（R7：9回→R8：12回）
- ブース装飾を全面リニューアル

Action
04

U-turn



インナープロモーション！

- Uターンを促進するため、市内の家族向けに発信
- 広報いわき8月号にて特集掲載

② 相談体制の強化



もっと気軽に「**つながる**」ために。

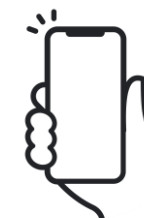


オンライン相談



- 利用方法：Zoom
- 受付日時：平日 9:00 ～ 20:00（事前予約制）
- 対応者：いわきとつながる課職員

LINE相談



- 利用方法：LINEアプリ
- 受付日時：平日9:00～17:00
- 対応者：いわきとつながる課職員

7月から運用スタート！ 

③ 支援制度の強化



引越しも、住まいも、運転も。移住への不安を「サポート」

01

宿泊補助

まずは、いわきに足を運んでもらう。
そのきっかけをサポート！

宿泊費の8割を補助
(上限8,000円、最大3泊まで)



02

引越し補助

子育て世帯を対象に、移住に伴う初期費用を手厚くサポート！

- ・ 県外 最大100,000円
- ・ 市外 最大50,000円



03

ペーパードライバー講習補助

運転に対する不安を解消へ。
運転が不慣れな方の安心をサポート！

- ・ 講習 最大25,000円
- ・ LOCOCA 20,000円分



04



家賃or運転免許取得費補助

移住への金銭的負担を軽減。
若年層が抱く金銭的不安をサポート！

- ・ 家賃 最大120,000円
- ・ 免許取得 最大150,000円



4 お試し移住体験



最大14日間滞在！

ロングステイだから発見できる。「**いわき暮らし**」の魅力。

オーダーメイド型移住体験

実際に本市へ足を運び、地域の人々と心を通わせながら「第二のふるさと」を築いていく、そのプロセスや地域づくりを創出

- いわき暮らしをロングステイで体験。ゲストハウスと連携した地域共創モデル！
- 移住希望者に地域の特性や生活の利便性等を体験してもらい、いわきのリアルを知ってもらう。

- ・ ゲストハウス利用の一部を支援
- ・ 多様な体験プログラムを無料提供

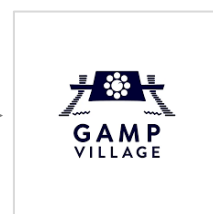
New

一定期間内に最大14日間滞在可能。地域ごとに特色のあるゲストハウスを巡る！

ゲストハウス等



平（市街地）



平（農家）



江名（港町）



常磐（温泉街）



田人（中山間）

体験・交流



観光では得られない魅力を！

体験（例）



まちづくり体験



農業体験



まちあるき



スポーツ



アクティビティ

5 首都圏コミュニティの創出



全国初!?

東京にいても「**つながる**」たまり場づくり。

New



とても面白く、全国的にもあまり聞いたことがない企画です！

ふるさと回帰・移住交流推進機構 代表理事・理事長 高橋 公氏

首都圏イベント

東京にしながら、いわきの「人」「魅力」「食」「文化」に触れられる移住コミュニティイベントを開催。

- セミナーのような堅苦しい場ではなく、移住前の不安や期待などを相談できる気軽な場。
- いわきのプレーヤーをテーマ（移住経験者、起業、子育て、就農など）ごとに、“案内人”に見立て、地元の魅力を語り、偶発的な交流や新たな「つながり」を作るきっかけを提供。
- いわきと首都圏をつなげる「たまり場」とし、移住候補先として本市の認知度と関心度を高める。

9月以降、毎月1回程度、東京で開催

6 庁内連携の強化



個別最適から「**全体最適**」へ。

産業振興部、農林水産部

労働力不足、新規就農支援など…

観光文化スポーツ部

観光交流人口、インバウンドなど…

保健福祉部

医療職、介護職不足など…

市民協働部

地域ボランティア、担い手不足など…

・
・
・

人口減少は共通課題

政策連携チーム



移住単独の施策だけでなく、暮らしに直結する他部署の事業と掛け合わせることで、魅力向上と地域課題解決の両立を図る

① 課と課がつながる

↓ 変動・不確実・複雑な社会課題に対し、
↓ 単独課での対応が困難

② 事業と資源がつながる

↓ 移住・定住×地域や各課の資源

③ 人と魅力がつながる

↓ 関係人口の創出、地域課題解決

事業例

- ・ 移住×担い手確保
→ 特定業種への就職支援金
- ・ 定住×出会い創出
→ 未婚率・出生率の改善へ

選ばれるまち、



いわきへ。



市長記者会見



いつでも
わくわく
まらまら
IWAKI

本日の案件

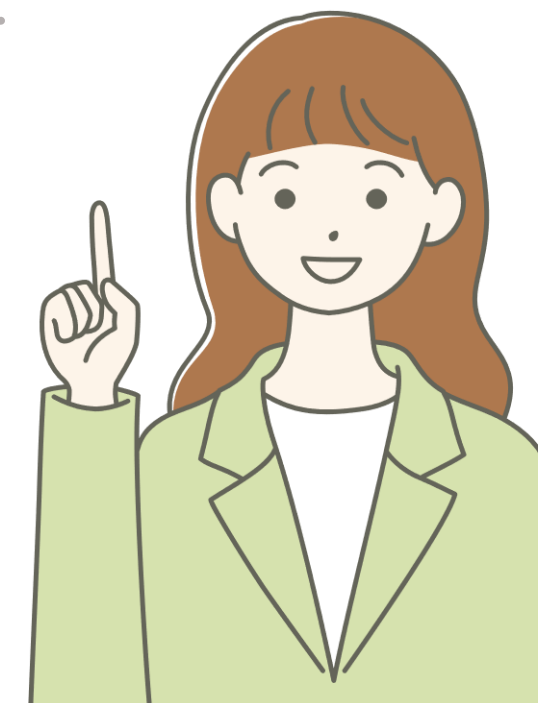
2 ～65歳以上のいわき市民の方へ～いきいきシニアきこえサポート事業

令和8年7月28日

事業の背景

耳の不調がある方へ

聞こえが気になることはありませんか？



聴力が低下



コミュニケーション不足

……うつ病

……認知症

リスク上昇

事業の背景

難聴の有病率（軽度難聴（※）以上の難聴がある人の割合）は
65歳から急激に増加

※軽度難聴：小さな声や騒音下での会話の聞き間違いや聞き取りが困難

【表1：難聴の有病率】

年代	60～64	65～69	70～74	75～79	80～
男性	18.8%	43.7%	51.1%	71.4%	84.3%
女性	10.6%	27.7%	41.8%	67.3%	73.3%

出典：国立長寿医療研究センター「老化に関する長期縦断疫学研究」

事業の背景



【表2：いわき市・難聴自己チェックシート実施結果（令和7年度実施）】

対象者：つどいの場の参加者（回答者456人）

中等度難聴（※）程度該当人数

※中等度難聴：普通の大きさの声の会話の聞き間違いや聞き取りが困難

年代	～59	60～65	66～70	71～75	76～80	81～	計
人数	1	2	7	21	36	39	106
割合	0.2%	0.4%	1.5%	4.6%	7.9%	8.6%	23.2%

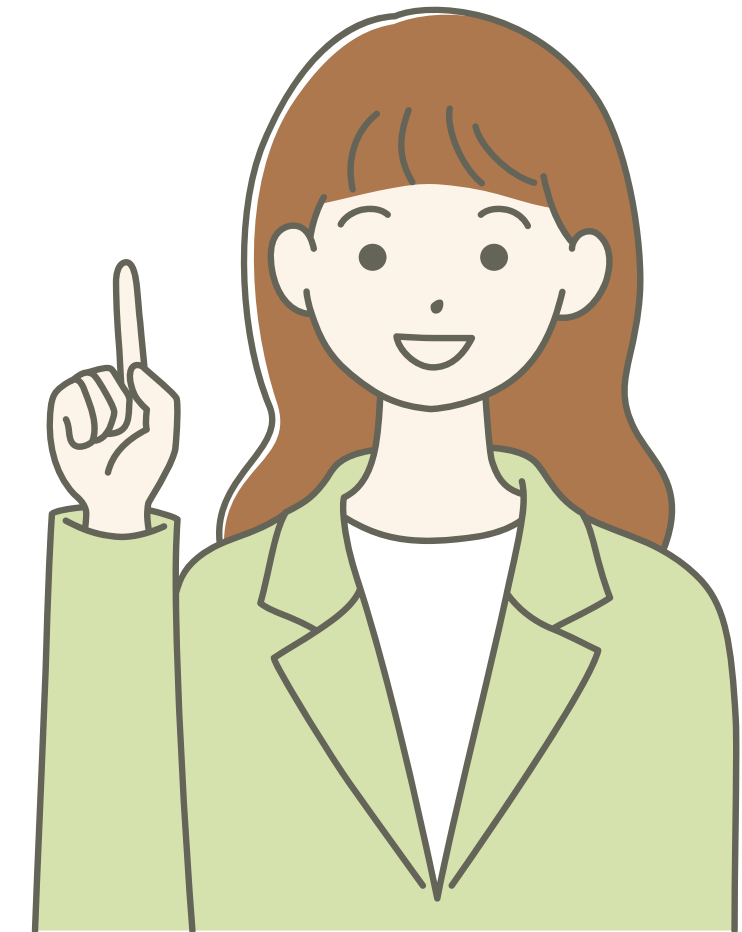
全体の約23%が中等度難聴程度の聞こえにくさを感じている。

耳の不調を感じたら・・・

まずは、お近くの耳鼻咽喉科または地域
包括支援センターへご相談ください！



補聴器が必要になった方
その“聞こえる”をサポートします。



いきいきシニアきこえサポート事業



 補聴器購入費用を助成（上限3万円）します

※助成には、要件があります。

事業開始日：令和8年8月3日（月）

いきいきシニアきこえサポート事業



補聴器購入費用を助成（上限3万円）します

※助成には、要件があります。

対象となる方

（次の要件を全て満たす方）



いわき市内に
住所を有して
いる方



65歳以上
の方



市民税
非課税世帯
の方



医師の診断を
受けた方
（効果が期待できると
診断された方）



中等度の
難聴の方
（聴力レベルが両耳とも
40dB以上70dB未満）



購入前に申請が必要です | 購入後の申請は対象外になります

いきいきシニアきこえサポート事業



手続きの流れ

- ①申請に必要な書類を準備する。
- ②医療機関を受診して意見書を作成してもらう。
- ③補聴器販売店で補聴器の見積書を作成してもらう。
- ④必要書類が揃ったら、地区保健福祉センターで申請する。
(電子申請も可能)
- ⑤市から決定通知が届いたら、補聴器販売店で補聴器を購入する。

聞こえる毎日を、 もっと楽しむ。

- ✓ 家族との会話がもっと楽しく
- ✓ 趣味や地域活動をこれからも
- ✓ 友人とのおしゃべりをもっと自由に

その“聞こえる”をサポートします。

【参考】高齢者支援にかかる市の取り組み



シルバーリハビリ体操



参加者、
体操指導士募集中

つどいの場



市内約360ヶ所で
活動中

いきいきシニアボランティアポイント事業



ポイントに応じて様々な
商品と交換可能

さがけ！男の料理塾

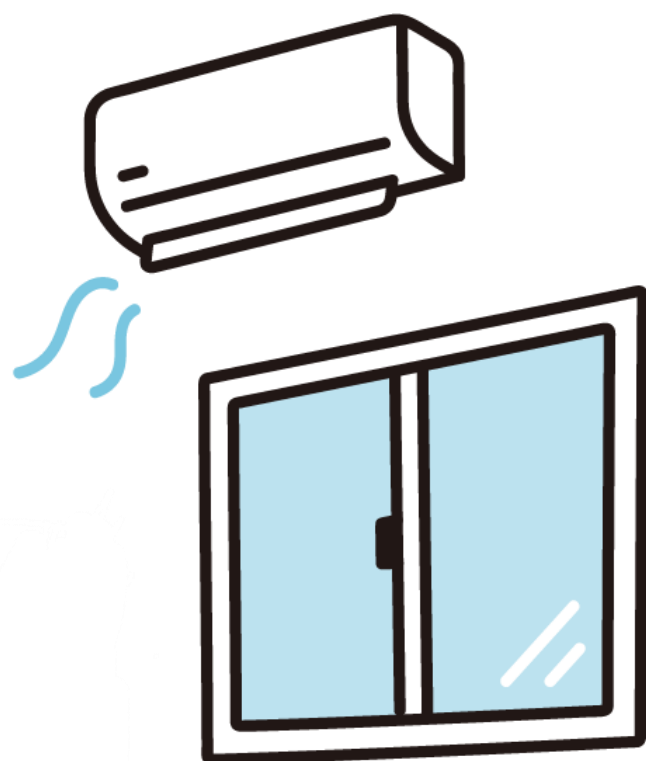


延べ234名もの卒業生
を輩出

【参考】高齢者支援にかかる市の取り組み



高齢者世帯熱中症対策 エアコン等購入補助事業



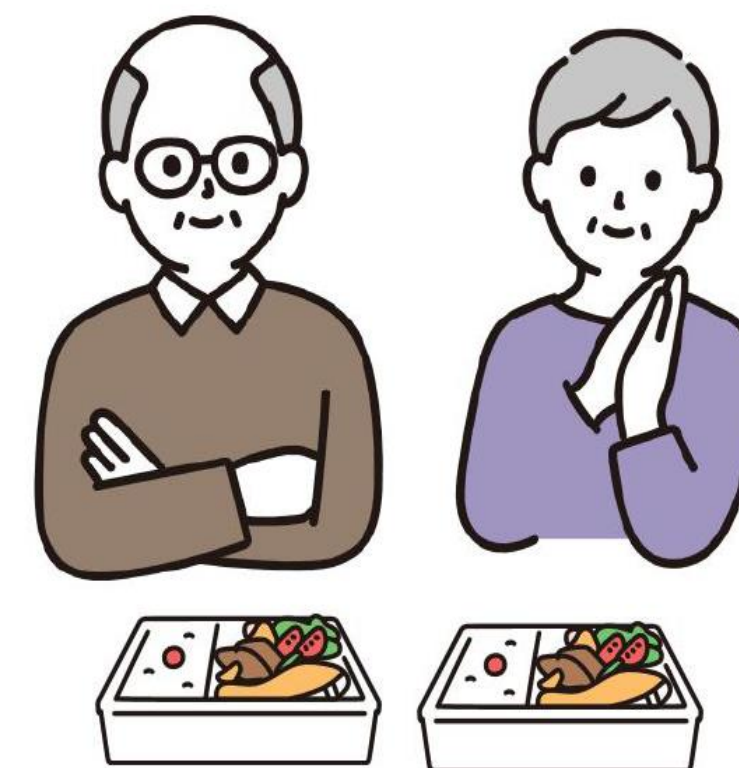
熱中症対策のために、
対象となる高齢者世帯へ
エアコン購入費を補助

緊急通報システム



単身高齢者の方などに
緊急時の連絡手段を確保

配食サービス事業



対象となる高齢者等へ
お弁当をお届けし、
併せて見守りを実施

65歳以上のいわき市民の方へ

いきいきシニアきこえサポート事業

聞こえる毎日を、
もっと楽しむ。

- ✓ 家族との会話がもっと楽しく
- ✓ 趣味や地域活動をこれからも
- ✓ 友人とのおしゃべりをもっと自由に

耳の不調を感じたら..
耳鼻咽喉科 または、
地域包括支援センターへ
まずはご相談を！

補聴器が必要になった方
その“聞こえる”をサポートします。

補聴器購入費用を助成(上限3万円)します

※助成には、要件があります。

耳鼻咽喉科、
行ってみかな



いきいきシニア
きこえサポート事業

令和8年8月3日受付開始